

豊丘高同窓会関東支部創立10周年祝う

都内で記念総会と親睦会

県立豊丘高校同窓会関東支部(彦坂雅行支部長)の創立10周年記念総会と懇親会が7日、東京都内で開かれた。東三河からも会員が駆けつけ、10年を振り返ったほか、11月2日の同窓会創立60周年祝賀会に向け同窓の絆を深めた。

(中村晋也)

関東支部は、同窓会創立50周年記念事業の一つで立ち上げられ、歴代同窓会長の悲願だった。「同窓会活動の発展と世代間の交流」を目的に、関東圏に在住する同窓生でつくる。記念総会には、東三河の会員らを含め60人が出席。同窓会の坂本雅弘会長が「関東支部の礎を築

いた10年間に感謝します」と述べ、「同窓会60周年の集大成となる祝賀会は楽しみながら交流できる機会とし、豊丘の絆を次世代に引き継ぎたい。大勢の参加を待ちしています」と呼びかけた。彦坂支部長は「10周年で屋形船を企画しました。スカイツリーなどを見ながら

思い出をつくれれば」とあいさつ。同窓会の若林正治相談役は「10年間ご苦労もあったと思います。関東支部を盛り上げていただいた。11月の祝賀会は豊丘の歴史を地域にPR

できればと語った。出席した山畑真樹校長は在校生の活躍など母校の様子を、豊橋市役所の宮下卓也東京事務所長は豊橋の最近の話題についてそれぞれ紹介した。



関東支部創立10周年記念総会や懇親会に参加した卒業生ら(東京都内で)

若手部会を

藤城建設会長に

豊橋市立花町の総合建設業の藤城建設(藤城匡昭社長)は、全部署の29歳以下の社員を対象に藤城建設若手部会を設立した。会長には、土木部の家喜嵐士さん(28)が就任した。設立総会は6日、

市の英語教育推進で意見交換

IBS研究員ら 豊城中3年生の授業参観

豊 橋

豊橋市立八町小学校イマージョン教育(IM)コースへの助言、支援を行う「ワイルド・ファミリーバイリンガルサイエンス研究所(IBS)」の研究員らが10日、同市の市立豊城中学校で3年生の英語の授業を参観し

た。参観したのは、IBSのジェイコブス・ポール主任研究員と佐藤有里研究員、豊城中「学習指導研究協力者の稲田恒久・磯辺小学校長。3年生の選択制少人数授業と、日本人教師と英語指導助手(A

LT)による全体授業をそれぞれ見学した。豊城中3年生に

は、IMコース開設時の八町小の卒業生が在籍している。意見交換では、IMコース卒業生と一般生徒との授業での取り組み方の違

いや、一般生に与える影響などを、研究員が同校の英語教諭に質問していた。

生徒たちのディスカッションの様子を見た稲田校長は「会話の中で新出文型を身につけようという意識はどの子も高く、素晴らしい。内容が伝わりにくい、文化的背景が違ふ人とのコミュニケーションをとる機



会を作ればさらに良いのでは」と話した。